

平成24年10月30日

名古屋産業大学
専任教員・非常勤講師 各位

教育研究センター
センター長 成田 暢彦

「学生による授業評価アンケート」の集計結果について

平成13年度後期から始めました授業改善のための「学生による授業評価アンケート」は、平成23年度で12年目を迎えました。これまでのアンケートの結果をみますと、着実に成果が上がってきております。これもひとえに皆様のご協力によるものと感謝しております。

さて、平成24年度の春学期 Semester におきましても7月第2週から第3週にかけて皆様のご協力により「学生による授業評価アンケート」を実施させていただきましたが、結果がまとまりましたので、別紙の通り報告いたします。

今回の結果を前年同期（平成23年度春学期）と比較しますと、B項目ではポイント評価が下降している項目が多いものの、目立った下降ではなく、平均が4.0以上の項目が多いことから、皆様の教育方法へのご努力が反映されているものと思われまます。

また、平成23年度秋学期と比較しますと、B項目はB(2)「先生は、板書やOHC・パワーポイントなどを使ってわかりやすく情報・資料を提示しましたか。」では評価が変わらないものの、その他の項目についてはポイント評価が下降しております。

ポイント評価が4.0をきる項目B(3)「先生は、学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか。」、B(5)「先生は、学生の理解度を確認しながら授業を進めましたか。」、B(6)「授業の内容は自分にとって興味や関心のもてるものでしたか。」については、今後のさらなる改善が望まれます。

A項目につきましては、平成23年度秋学期と比較しますと0.1ポイントずつ下降しており、今後より改善が望まれます。

今回の結果をご参考にしていただき、ますますの授業改善に役立てていただければ幸いです。